

平成 28年 10月 28日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : アクアテクノ 900
会社名 : 株式会社ピュアソン
住所 : 東京都豊島区池袋 2-63-4
担当部門 : 品質管理
電話番号 : 03-5960-3121
FAX 番号 : 03-5960-3128
MSDS 番号 : F14L001

2. 危険・有害性の要約

GHS分類 次亜塩素酸ナトリウムを参考とする
物理化学的危険性

	: 引火性液体	: 区分外
	: 自然発火性液体	: 区分外
	: 自然発熱性化学品	: 区分外
健康に対する有害性	: 急性毒性 (経口)	: 区分外
	: 急性毒性 (経皮)	: 区分外
	: 皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
	: 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分1
	: 生殖細胞変異原性	: 区分外
	: 発がん性	: 区分外
	: 生殖毒性	: 区分外
	: 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分3
環境に対する有害性	: 水生環境急性有害性	: 区分2
	: 水生環境慢性有害性	: 区分2

ラベル要素



絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒のおそれ（経口）
皮膚に接触すると有毒のおそれ（経皮）
吸入すると有毒のおそれ（粉じん）
皮膚刺激
強い眼刺激
呼吸器系、肝臓の障害のおそれ
水生生物に強い毒性
長期的環境により水生生物に強い毒性

注意書き

：安全対策

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
この商品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。
熱から遠ざけること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
室外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
眼、皮膚、又は衣類に付けないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
取り扱い後よく手を洗うこと。
環境へ放出を避けること。

：救急処置

火災の場合には、適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸し
やすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、
医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せ
る場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染さ
れた衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワー
で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には
洗濯すること。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断
手当てを受けること。
吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

: 保管

可燃物、その他の禁忌物質から離して保管すること。
容器を密封して換気のよいところで施錠して保管すること。

: 廃棄

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた
専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国／地域情報

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物
成分及び含有量 : ①次亜塩素酸ナトリウム
②水酸化ナトリウム
③界面活性剤

官報公示整理番号 : ① (1) - 237 ② (1) - 410
③非公開 ④非公開

CAS. NO : ①7681-52-9
②1310-73-2
③、④非公開

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要
に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水および石けんで洗い流す。
直ちに医師の診断を受ける

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師
の診断を受ける。すぐに痛みがなく視力に影響
がなくても障害が遅れて現れることがあるので
、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 医師の診断を受ける。
口をすすぐこと。

最も重要な兆候及び特徴に
関する簡素な情報 : 情報なし

応急処置をする者の保護 : 被災者を救助する場合は、状況に応じて適切な
保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項 : 安静と医学的な経過観察が必要。

5. 火災時の措置

消化剤	: 小火災 大量の水 大火災 大量の水
使ってはならない消化剤	: 二酸化炭素
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器内に水を入れない。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行なう者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。

5. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
保護具及び緊急時措置	: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具（8. 暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩しても火災が発生しない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。適切な保護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。風上に留まる。低地から離れる。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 河川などに排出され、環境へ悪影響を起ささないように注意する。環境中に放出してはならない。
回収、中和	: 漏洩区域を大量の水で洗い流す。 漏洩物を取り除いたり廃棄するのは専門家の指示による。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。 蒸発を抑え、蒸発の拡散を防ぐため散水を行なう。
二次災害の防止策	: すべての発火源を速やかに取り除く。排水溝

、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策 : (8. 暴露防止及び保護措置) に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気装置・全体換気 : (8. 暴露防止及び保護措置) に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取り扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。眼に入れないこと。接触、吸入または飲み込まないこと。室外又は換気のよい区域でのみ使用すること。

接触回避 : (10. 安定性及び反応性) を参照。

保管

技術的対策 : 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

混触禁止物質 : (10. 安定性及び反応性) を参照。

保管条件 : 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。菌汚染の恐れがあり、開封後はなるべく早くご使用下さい。

容器包装材料 : 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない。

ACGIH : 設定されていない。

設備対策 : 取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。できるだけ密閉された装置を使用し、全体換気を適正に行うことが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要により防毒マスク

手の保護具	: ゴム保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡 (側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け等
衛生対策	: 情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など	: 微黄色透明液体
臭い	: 機材臭
PH (1%)	: 12.0~13.0
融点・凝固点	: データーなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データーなし
引火点	: 非引火性
燃焼又は爆発範囲	: 上限; データーなし 下限; データーなし
蒸気圧	: データーなし
蒸気密度	: データーなし
比重 (密度)	: 1.1100~1.1300 (25℃)

水溶解性	: 易溶
溶媒溶解性	:
オクタノール/水分配係数	: データーなし
自然発火温度	: データーなし
分解温度	: データーなし
臭いのしきい値	: データーなし
蒸発速度	: データーなし
燃焼性 (固体、ガス)	: データーなし
粘度	:

10. 安定性及び反応性

安定性	: 法規制に従った保管及び取り扱いにおいて安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: 酸と接触すると有毒のガスを生成する。
避けるべき条件	: データーなし
混触危険物質	: 還元剤、強酸。
危険有害な分解生成物	: データーなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データーなし
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚刺激及び化学火傷、皮膚刺激性のおそれ。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 重篤な眼の刺激のおそれ

呼吸器感作性又は皮膚感作性：情報なし
生殖細胞変異原性：情報なし
発ガン性：情報なし
生殖毒性：情報なし
特定標的臓器・全身毒性一単回暴露：情報なし
特定標的臓器・全身毒性一反復暴露：情報なし
吸引性呼吸器有害性：情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性：強い毒性
魚毒性：強い毒性
残留性／分解性：生分解性：データなし
BOD；データなし
COD；データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行なう。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：クラス 8 腐食性物質
国連番号：1791
国内規制：非該当
輸送の特定の安全対策及び条件：容器にもれのないことを確かめ、容器の転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にしなう。直射日光を避ける。

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法（P R T R）：非該当
労働安全衛生法：酸化性物質
毒物及び劇物取締法：非該当

化審法 第2種特定化学物質	: 非該当
消防法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
港則法	: 施行規則第12条危険物告示 腐食性物質
航空法	: 規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質
船舶安全法 告示第1腐食性物	: 危険物船舶運送及び貯蔵規則第2,3条危険物

質16. その他の情報

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、注意事項等は通常の手扱いを対象としたものなどで、特別な取り扱いをする場合には、新たな用途・用法に適した安全対策の実施の上でご使用ください。